

令和3年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立江戸川高等学校 学校運営連絡協議会

(2) 事務局の構成 教務主任＝1名 計1名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務（進路兼務）主任、生活指導（保健兼務）主任 計5名

(4) 協議委員の構成

P T A役員、元同窓会役員、相談医、近隣中学校長、近隣自治会長、警察（スクールサポーター）
計6名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和2年6月（書面開催） 内部委員5名、協議委員6名

協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校サポート委員委嘱、防災教育推進委員委嘱、
学校経営報告、学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題、本校の現状と課題、
協議委員からの意見集約

第2回 令和2年11月27日（金）16時00分～17時00分 内部委員5名、協議委員2名

これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、
学校評価の内容検討、協議（会后、授業公開）

第3回 令和2年2月（書面開催） 内部委員5名、協議委員6名

これまでの教育活動に関する報告、学校評価の報告、次年度に向けた方向性・課題の確認

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和2年11月27日（金）17時00分～17時20分 内部委員1名、協議委員1名

今年度の評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

第2回 令和3年2月（書面開催）

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒 対象：132名 回収：125名 回収率：95%

・12月 保護者全員 対象：132名 回収：29名 回収率：22%

・12月 地域・住民 対象：30名 回収：22名 回収率：73%

・12月 教職員 対象：14名 回収：8名 回収率：57%

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、学校行事、健康・安全、
施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進など

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

・生徒や保護者は概ね本校の教員の授業に満足している。

・生徒や保護者は相談体制について概ね満足している。

・保護者や地域・住民からは学校のように見えにくいという意見が多い。

・保護者や地域・住民は校内のライフ・ワーク・バランスの取組状況は評価しづらい。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・限られた教員数の状況下で、教員が連携をとりながら教育活動を行っている。
- ・教員は生徒の実態に合わせてながら、授業を行っている。また、コロナ禍において工夫しながら可能な範囲で学校行事を行っている。
- ・地域・住民のアンケートでは、学校のように見えにくいという声が相変わらず多い。学校としての情報発信力を高めていく必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒は本校の授業にある程度満足している。生徒の実態に合わせてながら、生徒に考えさせる授業を実践していく取組が教員の中に浸透しつつある。
- ・保護者を中心に、教員の教育活動への理解が進んだと思われる。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒の学力の伸長が課題であり、授業改善を継続していく。オンライン授業の実施についても遅れているので、推進していく必要がある。
- ・学校のようにも含めた情報発信が大きな課題である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して学校の教育方針を説明し、理解を得るようにする。

(2) 学習指導

- ・基礎・基本の学習を徹底させつつ、生徒みずから考える授業展開を心がける。
- ・オンライン授業について実施できる環境をつくる。

(3) 特別活動

- ・部活動、学校行事などを充実させるとともに、感染症対策などにも留意して計画する。

(4) 生活指導

- ・保護者、関係諸機関との連携を図りながら、生活習慣や心のケアの問題に取り組んでいく。

(5) 進路指導

- ・中退率を減少させながら、キャリア教育を充実させ、個々の希望に応じた進路実現を図る。

(6) 健康・安全

- ・生活安全教室、薬物乱用教室、セーフティ教室を継続して行う。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 6人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
4人	1人	0人	0人	0人	1人

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】職員会議0回延べ0人、企画調整会議43回延べ0人 【成果】なし

- ・コロナ禍のため定例会以外で意見をうかがう機会はほとんどなかった。

8 その他

- ・保護者や地域・住民のアンケート回答率を上げるために、情報発信に注力していく。